

# 株式会社CSSホールディングス 第38期ビジネスレポート

2021年10月1日 ▶▶▶ 2022年9月30日

 **CENTRAL SERVICE SYSTEM GROUP**

## Support The Hospitality

最高の“おもてなし”を支える最適のパートナーに



証券コード：2304

Go Beyond!  
**20<sup>th</sup>**  
Anniversary  
おかげさまで上場20周年

当社は2022年6月13日をもちまして  
上場20周年を迎えることができました。  
これもひとえに株主の皆様の日頃の  
ご支援の賜物でありますこと、  
改めて感謝申し上げます。



**スチュワード事業**  
株式会社セントラルサービスシステム  
株式会社セントラルホテルサービス  
ホテル・レストランを中心として食器洗浄および管理業務を全国展開  
しています。

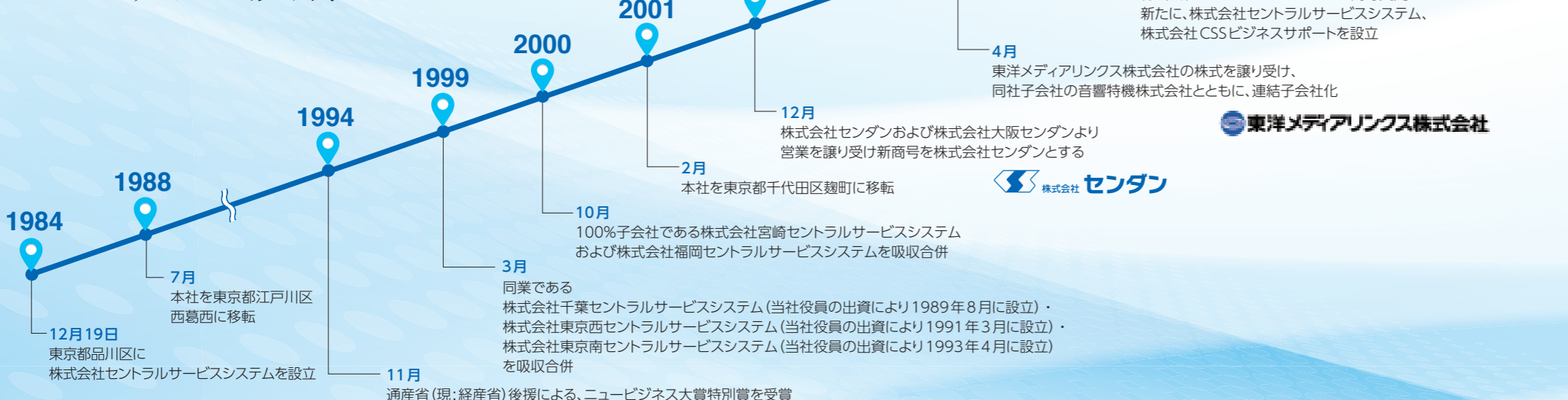


**フードサービス事業**  
株式会社センダン  
株式会社パトリオットバトン  
従業員食堂・レストラン運営の受託、外食事業を展開しています。



**空間プロデュース事業**  
東洋メディアリンクス株式会社  
Mood Media Japan 株式会社  
音響特機株式会社  
BGMに加え、映像・音響・放送・セキュリティに関する設計・販売・  
施工・管理・メンテナンスまですべてを可能とする  
空間プロデュースとして展開しています。

Go Beyond!  
**20<sup>th</sup>**  
Anniversary  
おかげさまで上場20周年



**記念配当のお知らせ**

当期は、期初に予定しておりました1株当たり5円とすることに加え、株主の皆様へ20周年の感謝の意を示すとともに、直近の業績状況や財務状況等を総合的に勘案し、1株当たり10円の記念配当を実施することといたしました。

2022年9月期年間

1株当たり **15**円

(普通配当 5.00円)  
(記念配当 10.00円)



CSSビルディング(小伝馬町本社ビル)

**「上場20周年にあたって」**

**裏方仕事だった食器洗浄をプロフェッショナルな仕事にしたパイオニアとして  
上場企業の責任を果たしてまいります。**

——上場当時を振り返って

**野口** 当社は、ホテル等の食器洗浄・管理を行うセントラルサービスシステムからスタートいたしました。創業当時の食器洗浄と言えばホテルが直接雇用する派遣やパートさんが中心だったところに、当社が責任とノウハウを兼ね備えたスチュワードという専門職として、業務を一括で請け負うアウトソーシングの概念を業界に持ち込みました。当初は、そうした新しい仕事を理解していただくことに苦労しましたが、徐々に業界で認められるようになり、当時の通商産業省(現・経済産業省)からニュービジネス大賞特別賞もいただきました。上場した理由には社会的な信用や知名度もありますが、やはり創業者が持っていたスチュワードという仕事に対する志、従業員に誇りを持って仕事をしてもらいたいという想いがありました。

**水野** 創業者・野口卓さんは当時、巨大なジェット機の汚れが燃費に影響する例からマイクロの世界の話まで、壮大なスケールで「洗う」「磨く」といった仕事の持つ使命を語っていらっしゃいました。そういったお話が、食器洗浄・管理という仕事に大きなビジョンを与え、従業員の心にプロフェッショナルとしてのプライドの火を灯したのだと思います。

**野口** 上場後は、ホテル・飲食・空間を軸にM&Aにも取り組み、グループ全体で「質の高い“おもてなし”の創造」をお客様にご提供すべく今にいたっています。

——これからの20年、またその先の未来について

**水野** 企業価値を向上させて、支えてくださっている株主様へお返ししていくことが最も重要です。そのためには、創業者が我々の強みとしてとらえた、責任遂行力とプロのノウハウが両立したアウトソーシングサービスの追求といった基本を変わずに次の世代へ伝えることが土台です。一方、技術や設備の進歩あるいは企業が果たすべき責任が大きく変化するなか、私たちは時代にマッチしたノウハウや責任遂行力を追求して自ら能動的に変革を促すことで提供価値を高め、株主の皆様の期待に応え続けることが大切だと思っています。

**野口** 当社で働く皆様には、この会社をベースにして、社会にどのようなものを提供し役立っていかを考えられる人間になってほしいと思っています。また、これから少子高齢化が進むにあたって、高齢者雇用についても当社が取り組むべきだと考えています。年齢に関係なく、職場でいきいきと働ける環境をより充実させたいです。そのほかDXやSDGsなどへの取り組みは、業界のパイオニアとして当社がお客様をリードする意識で取り組んでまいります。

代表取締役  
**野口 緑**

代表取締役社長  
**水野 克裕**

代表対談

# CSSグループの向かう先

中期経営計画の初年度を終え、当社は新経営体制下で改めて中期経営計画を再構築いたしました。コロナ禍が日常となりつつあるなか、当社グループの方向性についてご説明いたします。

株式会社CSSホールディングス  
代表取締役社長

水野 克裕

株式会社CSSホールディングス取締役 兼  
株式会社セントラルサービスシステム  
代表取締役社長

讃岐 康司

当期(第38期)のグループ業績はいかがでしたか。

**水野**：中期経営計画3ヶ年の初年度となる当期は、ほぼ計画通りに推移いたしました。営業利益ではわずかに目標に届きませんでした。売上高、経常利益では目標を達成し、最終利益もプラスで着地いたしました。

コロナ禍でスチュワード事業やフードサービス事業は非常に厳しい事業環境で当期は始まりましたが、春頃より想定以上に人出が回復してきたという環境面に支えられました。一方で、空間プロデュース事業は、円安の影響や、世界情勢が不安定になったことによる原材料不足、エネルギー・物流コストの負担の増大等の影響で収益構造の様相が激変し、新たな事業の課題と向き合った1年でした。

2022~2024年の中期経営計画の初年度が終わった今、改めて新しい中期経営計画を策定しなおされた理由をお教えてください。

**水野**：社長就任とともにスタートした新中期経営計画の初年度が何とか形になったことに感謝します。一方、コロナ禍で先行きの強い不透明感のなかで作った計画に対して、この1年はさらなる社会情勢の激変もあり、見直しは必然の状況でした。成り行

きのベースと新たな兆しの双方を再度議論し、新経営体制においてボードメンバーの納得感がある計画とするというプロセスが必要な状況でした。

新中期経営計画のポイントは何かでしょうか。

**讃岐**：コロナ前水準を超えるという意志です。

スチュワード事業は、人財の確保に焦点を置き、従来のリクルートの手法だけでなく、学校や人財会社との連携強化、自社の教育センターの開発など従来とは違ったアプローチに取り組みます。当社のビジネスは、人が集まらなければ売上につながりません。新しく人財開発部を発足させ、人財への投資を積極的に行ってまいります。また、客室清掃や厨房清掃に清掃ロボットを導入してDXを進めます。客室清掃などの受注にこれまで以上に注力し、主要顧客であるホテル様の需要にワンストップでお応えできる体制を整えます。

フードサービス事業では、ホテル朝食へのご要望が堅調です。観光立国日本の旗印のもと、まだまだホテルの数は増加傾向にあり、外国資本の進出も旺盛です。インバウンドも復調傾向にあり、今後も案件確保に努めます。また、高齢者施設での給食業務も引

き続き力を入れていきます。高齢者施設の需要は今後も増加する見込みであり、その領域をしっかりと確保することを目指します。

**水野**：空間プロデュース事業は、新しい生活様式や新たに顕在化した環境リスクなどを踏まえて事業価値を掘り下げで議論しています。外部アセットとの連携によって当社の事業価値を再構築することも進めます。

また、次世代人財の育成も大きなテーマです。グループ内の全事業のシナジーをより高めるため、当社の創業の原点である責任とノウハウといった価値感を共有しながら“Go Beyond”する人財を、と考えています。グループ共創力についても単なる組み合わせではなく、価値観に基づいた当事者としての意欲が起点となるようでありたいと思っています。

株式会社セントラルサービスシステムの社長に就任された讃岐社長に、現在のお気持ちをうかがえますか。

**讃岐**：人財が当社ビジネスの基本ですので、働く人にやりがいを持ってもらえるような環境をまずは整えます。人財教育を含めて内部の底上げを図り、業界のリーディングカンパニーとして斬新なアイデアや

取り組みを提案したいと考えております。例えば、AIやロボットの導入や当社のノウハウを活用したコンサルティング事業など、時代の流れをみて取り組みます。私自身は、この業界におけるビジネスの経験は長くありませんが、新鮮な視点から、仲間とともに新しいビジネスを創り上げられたらと考えています。

最後に、株主様へのメッセージをお願いします。

**讃岐**：まずはROE8%以上の目標を目指して、しっかり経営判断を行ってまいります。従業員の働きがいと株主還元はどちらか一方だけで成り立つものではなく、両輪で成り立たせるものだと考えております。そのためにも選択と集中で投資を行い、ビジネスの合理化を進める1年にしてまいります。

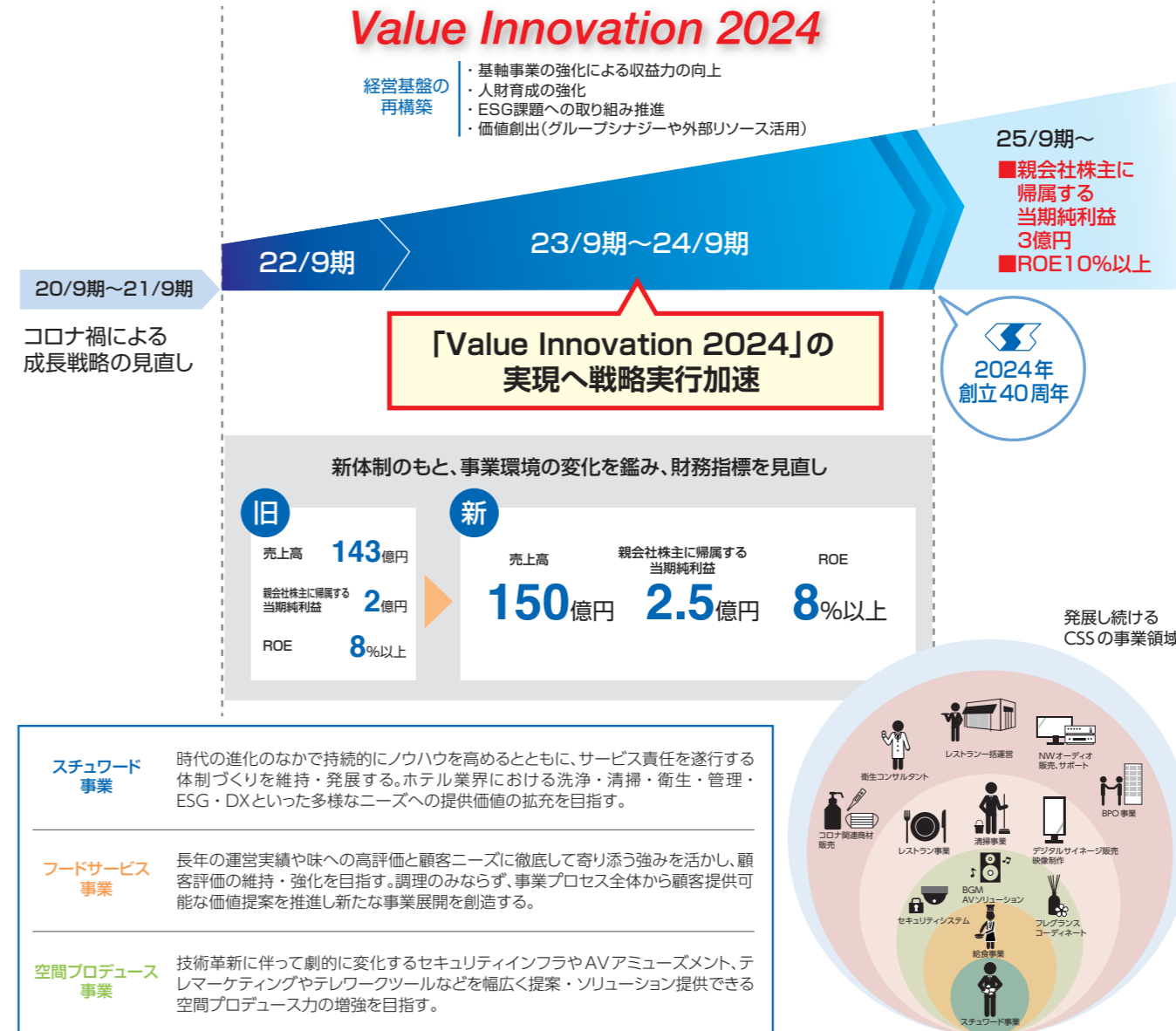
**水野**：やはり、最も意識しているのは企業価値を高めて株主様へどう還元していくかです。収益を生んで株主還元し、株価が上がること投資の材料が増える、といった自然な流れを取り戻したいと考えております。斬新な価値をマーケットに提供するためにはスピード感やチャレンジは不可欠です。株主の皆様には温かく見守っていただきますとともに、引き続きご指導ご鞭撻のほど、お願い申し上げます。

2022-2024年 CSSグループ新中期経営計画

# Value Innovation 2024

一質の高い成長と価値創出

コロナ禍が続くなか、新たに見えてきた課題や生活様式の変化を踏まえ、残り2年の中期経営計画の見直しを行いました。2024年の創立40周年に向けて、より実行力と実現スピードを高めてコロナ禍前の水準以上を目指します。



東洋メディアリンクス株式会社  
新社長就任ごあいさつ



代表取締役社長  
村松 充浩

この度、東洋メディアリンクス株式会社の代表取締役社長に就任いたしました村松充浩と申します。CSSグループの一員として、株主の皆様のご期待に応えられるよう努めてまいりますので、変わらぬご支援のほどお願い申し上げます。

仕事におけるモットー

「信頼と情熱とスピード」を信条としています。上司と部下との関係は自分の敵ではなく仲間です。この意識があれば自分の言葉はいつか部下に届くと念じてきました。そして、最も大事なのは個人の能力より成し遂げたいという熱意だと思います。また、難局期こそ、まず行動すること。いいと思ったことをすぐに実行に移すことが大切です。「自分で考え行動する」人財づくりを目指し、自由闊達でハツラツとした企業文化を醸成したく思っています。

経営方針について

私たちの原点は「それぞれの空間にそれぞれの音を」というワン・トゥ・ワン・マーケティングの発想にあり、サウンドビジネスのプロフェッショナルとして活動してきました。現在、この考え方は音だけでなく、映像・照明・防犯カメラ設備の設計施工、保守、そして香りへと引き継がれ、五感に動きかけるトータル空間プロデュースへと広がってきました。これからも創業の志を持って、マーケットイン発想で様々なイノベーションに取り組み、一人ひとりがイキイキと活躍し成長する企業となれば、おのずとお客様や株主様をはじめとしたステークホルダーの皆様にご貢献し喜んでいただけると考えています。

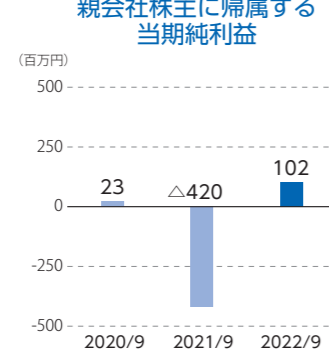
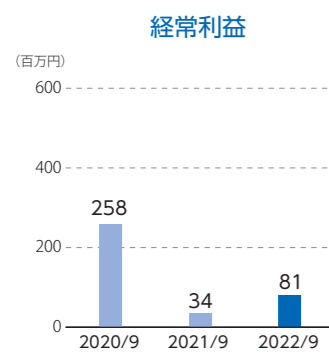
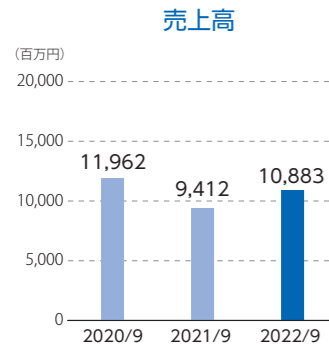
2022年9月期 連結業績

4月以降徐々に新型コロナウイルス感染症の厳しい状況が緩和されたことにより、スチュワード事業、フードサービス事業は回復基調で推移しました。一方、空間プロデュース事業は不安定な国際情勢の影響を受けて厳しい事業環境が続きしました。

その結果、2022年9月期はグループ全体で前期比15.6%の増収となり、営業損失も前期比で改善いたしました。

なお、休業補償にともなう雇用調整助成金については、営業外収益に計上しております。

売上高	10,883百万円
営業損失	△186百万円
経常利益	81百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	102百万円

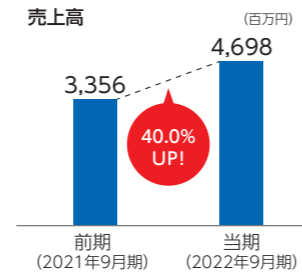


スチュワード事業



ホテル・レストランを中心として食器洗浄および管理を全国展開する当社グループの中核事業

売上高 4,698 百万円 営業利益 32 百万円



4月以降の国内旅行客数の持ち直しや、外国人旅行者の入国制限の緩和などにより、主要顧客であるホテルをはじめとするレジャー・観光業では人材不足が顕在化しました。その顧客ニーズをいち早くとらえることで当期は売上・利益ともに計画を大きく上回って推移しました。

当期はホテルをはじめレストランや病院内食器洗浄、客室清掃業務など計27件の案件を受注、開始にいたりしました。また、顧客にて内製化されていたスチュワード業務のうち3件を再受注いたしました。

アフターコロナを見据え、雇用調整助成金の特例措置を活用しながら人財確保・雇用の維持に努めることで、稼働の急変動にも安定した品質で顧客ニーズに対応することができました。

2022-2024 中期経営計画 成長戦略



**注力する取り組み**

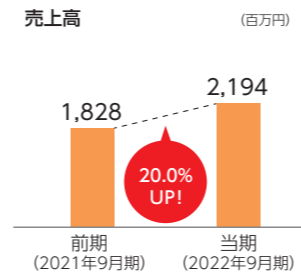
- 採用活動や教育研修、人財マネジメントといった、顧客ニーズへの対応基盤となる人財への投資
- スチュワードノウハウの異業種展開や多様化する顧客ニーズ、国内外からのコンサルニーズへの対応などマーケット拡張を企画設計
- 上記の取り組みを業界内の協業や異業種連携によって実現するアライアンス

フードサービス事業



従業員食堂・レストラン運営の受託、外食事業を展開

売上高 2,194 百万円 営業損失 △39 百万円



スチュワード事業と同様、今春以降の規制緩和等によりホテルの稼働率が回復傾向にあるなか、当事業ならではの「食」と「衛生」の総合提案力を活かし、顧客へ様々な提案を行ってまいりました。

その結果、当期はリゾートホテルや宿泊特化型ホテルグループの朝食レストランなど、計13件の業務を受注、開始にいたりしました。既存顧客に向けては、それぞれの顧客環境に合わせたサービスや地域性のあるフェアメニューの提案などにより顧客満足度向上に努め、売上高は当初計画にこそ届かなかったものの、売上高、利益ともに前期を大きく上回りました。

2022-2024 中期経営計画 成長戦略



**注力する取り組み**

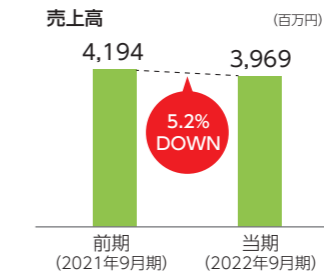
- 美味しさや楽しみの追求とESG課題への貢献を含む「食」と「衛生」の提案力
- 一流ホテル連携によるライフケア事業での価値提供など、事業アセット連携による顧客価値提供の差別化
- 高いコスト/収益への意識をベースに、サプライチェーンマネジメントの生産性を高める

空間プロデュース事業



映像・音響・放送・セキュリティに関する設計・施工・販売・管理・メンテナンスに加え、BGMおよび香りまで提供する空間プロデュースを展開

売上高 3,969 百万円 営業損失 △52 百万円



当期は、コロナ禍の影響に加え、不安定な国際情勢による半導体はじめ原材料不足や仕入れ価格の高騰、円安の急加速などの影響により、すべての部門で非常に厳しい事業環境となりました。そうしたなか、パートナー企業や協力会社との連携強化を図り、新規顧客発掘、新事業領域の開拓に取り組むとともに、入荷遅延を見越した早期受注による商品手配や、販売価格の見直しを行うことで収益の確保に努めました。また、再開しつつある各種展示会にも参加して商材の拡充や販路拡大、為替予約によるリスクの最小化にも取り組みました。

2022-2024 中期経営計画 成長戦略



**注力する取り組み**

- コロナ禍の収束に対応して営業活動やWEBマーケティング、販促イベント参画など、営業活動を再構築
- AIソリューションや設計施工などのパートナーと連携して、マーケットニーズへのアンテナを高める
- 運用サービスや商品調達などのコスト環境変化に対応する収益マネジメント志向

# E

## 環境への取り組み

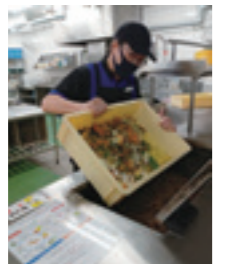


### ■食品ロス削減(SDN)

●農林水産省が推進する「食品ロス削減国民運動」に賛同し、SDN運営の食堂、レストランにおいて「ろすのん」POPを掲示した啓発活動を推進しています。



●受託先ホテルで発生する食品残渣の分別作業にパートナー会社として協力し、環境課題の解決に貢献しています。



生ごみを分別したうえで専用の機械に投入し環境負荷の無い分解水として排水できる仕組み

### ■無洗米使用の推進(SDN)

運営するレストランや食堂において、無洗米使用を推進しています。2022年9月末時点では、全事業所のうち、63%が無洗米を導入し、削減排水量は年間推定1,100m<sup>3</sup>。  
※参考:特定非営利活動法人 全国無洗米協会「無洗米の節水効果調査」



### ■ユニフォームの再資源化に協力(CSS・CHS)

2017年より不要になったユニフォームを廃棄せず再資源化を目的とし回収業者へ送付しています。今後、清掃部門ではリサイクルユニフォームの着用推進を検討。



### ■ペットボトルキャップ支援運動を開始(全社)

ペットボトルキャップを収集し、発展途上国の子供にワクチンを届ける活動に参加しています。グループ全社で推進し、2022年度は累計37.3kgのキャップ(18.6人分のポリオワクチン)を寄付いたしました。



# CSSグループ SDGs宣言

当社は国連が提唱する「持続可能な開発目標(SDGs)」に賛同し、積極的な取り組みを通じて持続可能な社会の実現に貢献してまいります

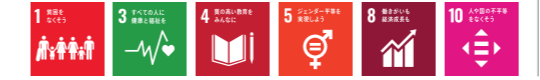


CSS: セントラルサービスシステム SDN: センダン  
CHS: セントラルホテルサービス

# G

## 人権を尊重した組織づくり

人権の尊重働きがいのある職場づくり



SDGs推進体制の構築



### ■永年勤続者表彰を実施(CSS・SDN)

10年以上、20年以上勤務する従業員に対し、感謝の気持ちを伝える表彰を実施しています。2022年度は全国で110名のスタッフを表彰いたしました。



### ■シニア、外国人従業員の積極的な雇用および就労サポート(CSS)

多言語マニュアルの整備や、柔軟なシフト体制、作業・衛生安全に配慮した研修やコミュニケーションの強化等、労働環境を整備しています。



### ■働き方改革(全社)

在宅勤務制度や経費精算システムの導入など、各事業に見合った勤務体系の見直しを行いウィズコロナ時代における柔軟な働き方を実現しています。

# S

## 社会への取り組み

人々の安心安全で健康な暮らしづくり 持続可能な経済成長への貢献



### ■地産地消の取り組み(SDN)

地元食材を活用したメニューを積極的に導入。一部レストランでは、地元農家と直接契約し地域ブランド米をお客様へ提供する等、地域の活性化に貢献しています。



### ■ウェルネスメニューでお客様の健康をサポート(SDN)

ホテルや企業の従業員食堂では、毎月「ウェルネスメニュー」を提供しています。栄養管理士監修による健康的でバランスの取れた食事で、お客様の健康維持をサポートいたします。



### ■安心、安全な食材の確保(SDN)

HACCPに基づいた独自の厳しい衛生管理を行い、食材の安全確保を徹底。「衛生栄養管理室」による事業所巡回や衛生指導、全従業員に対し月1回の衛生テストを実施し、幅広い衛生知識を身につけさせる安全確保を徹底しています。



### ■交通安全運動への積極的な参加(全社)

全国交通安全週間期間中、本社近くの交差点で実施される街頭配置活動に2012年より参加しています。積極的な参加により、安心して暮らせる街づくりに貢献しています。



# Patriot Baton

## 株式会社パトリオットバトン

大阪を拠点に、レストラン事業を中心に展開。  
素材からこだわったメニューとおしゃれな空間で顧客満足度を高めています。

株式会社パトリオットバトン  
代表取締役社長 木下 光平



### ■自家製麺のパスタ専門店から出発

当社は、自家製麺のパスタ専門店を中心としたレストラン・洋菓子店の運営をメインに事業を展開しています。2018年にCSSグループの一員となりました。現在は、「金星パスタ」「フジフランス」等のレストラン事業と製菓事業のほか、フランチャイズ(FC)事業およびEコマース(EC)事業にも注力しています。また、カフェレストランのプロデュース事業も行っており、サービスエリア内のカフェプロデュースやグランピング施設の商品開発などの実績があります。

当社の創業は、店内に製麺機をかまえたパスタ専門店からスタートしています。独自で調合した粉で作ったもちもち食感のパスタを軸に、それに合うソースを開発しながら事業を展開してきました。これまで大事にしてきた素材やおいしさへのこだわりを受け継ぎつつも、コロナ禍などで変化を続けるその時代時代に合った形にサービスをリブランディングしていくことが社長の私の使命だと思っています。

### ■飲食店経営で大切にしたいこと

やはりお料理とサービス(接客)と空間、全部でお客様に満足して帰っていただくことが飲食業の基本だと考えています。お客様に喜んでもらうことでさらにお客様を増やしていくこと、人を大切にすること。私は元々フレンチの料理人をしてきた経歴があり、自ら現場に立つことも得意です。ともに汗を流しながら、会社全体で意識を共有できるように伝えたいと思っています。

また、地域に必要とされることも大事です。場所によって、シニアの方が多いエリアもあれば若い方が多いエリアもあります。同じブランドでも、商品や空間、サービスの仕方はその店舗ごとにカスタマイズしていかなければなりません。地域の方々に喜んでいただき、結果リピーターが増えていくことは非常に喜ばしいことだと感じております。

### ■今後の展開について

レストラン事業に関しては、アルコール提供を考えた店舗にも取り組みたいと考えています。ディナータイムのア

ルコール提供に関しては当社の伸びしろでもあり、今後注力したい領域です。食事需要の高い商業施設内店舗と、アルコール需要のある路面店舗でうまくブランディングを分けられたらと思います。

また、2023年4月には関東圏の新しい商業施設内に金星パスタをFCで出店予定です。関東エリアへの進出は直営ではまだ難しいものの、今のうちからFCという形で地域に根差したカスタマイズのパッケージをひとつ作り上げたいと考えています。

SDGsに関する取り組みも始めています。2022年春から、福島県の尾瀬ヶ原にある人気山小屋とコラボレーションし、ジビエ料理のメニューを開発しました。近年、尾瀬ヶ原では鹿害が問題となっており、捕獲した鹿もほぼ使い道がありません。そこで、鹿肉を食肉として活用した鹿肉のポロネーゼを考案したところ、定番の定食に並ぶ人気メニューとなっています。食を通じて尾瀬鹿の食害を考えるきっかけとなれば幸いです。今後も、SDGsに貢献できる取り組みを積極的に推進してまいります。

## Brand ブランド一覧

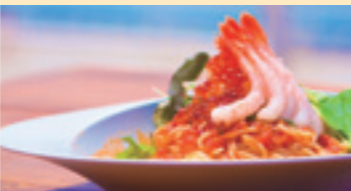
**金星パスタ**  
(なんばパークス店、くずはモール店)  
保存料を一切使用しない自家製麺をはじめ、素材にこだわったパスタを提供。商業施設のテナントを中心に、FC展開も行っています。



**KINBOSHI PASTA CAFÉ**  
(狭山市)  
大阪狭山市にある一戸建て店舗。イタリアンカフェスタイルで、自家製麺のパスタのほか、自慢の石窯ピッツァ、工房が隣接するフジフランスのデザートが楽しめます。



**NEW!**  
**Kinboshi Pasta Jr.**  
(天保山マーケットプレース)  
当社初のフードコート形態として2022年5月14日にオープン。本格レストランの味はそのままに、カジュアルにお楽しみいただけます。



**Fujifrance(京阪モール)**  
本物の果物そっくりなケーキやカラフルで多種多様なモンブランなど、美味しさにも見た目にもこだわったスイーツを提供。阪神百貨店 阪神梅田本店など百貨店等の催事にも積極的に参加しています。



**NEW!**  
僕とうどんとカツおだし(くずはモール店)  
新業態として、2022年10月20日にうどん店をオープン。店内で手作りするツルツルもちもちの麺と自慢の出汁は素材からこだわり抜きました。落ち着いたおしゃれな空間で女性グループも利用しやすいお店です。



# CSS Topics

当期のグループ各社の取り組みをご紹介します。

- CSS 株式会社セントラルサービスシステム
- SDN 株式会社センダン
- TML 東洋メディアリンクス株式会社
- OTK 音響特機株式会社

## スチュワード事業

### CSS CSS開業ラッシュ!

当期CSSは、スチュワード業務21件、客室清掃業務4件、そのほか調理補助・ホールサービス業務、スパ清掃業務など、計27件の業務を新たにご依頼いただきました! 今後も、お客様のご期待に応えるため、全社一丸となって業務に邁進してまいります。



▲プリンスホテルズ&リゾーツ様よりスチュワード業務を3件受注



▲CSS初の調理・ホールサービス業務を、センテラス天文館「黒ノ壽」様にてスタート

## スチュワード事業

### CSS マーケット開発部を新設

ホテル・レストランにて38年培ってきたCSSの「スチュワーディング」ノウハウを、より広い料飲分野へ提案・提供し、さらには、海外への事業展開を目指してまいります。

### 3大ミッション

- 1 新規マーケット開発
- 2 パートナー企業の開発
- 3 コンサルティング事業の確立



「 私たちにお任せください! 」

## フードサービス事業

### SDN 大手ゼネコン建設現場 従業員食堂を受注

世界最大規模となる半導体工場の建設現場の食堂運営を受注。外国人従業員向けのソルフードやヴィーガンメニューなど多様なメニューを提供し、お客様の満足度向上に努めました。



## 空間プロデュース事業

### TML ウェビナーシステムの提供を開始

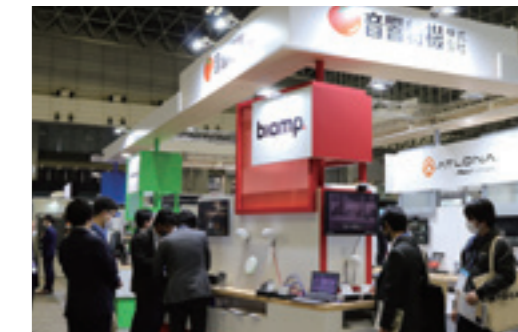
10月より新たなウェビナー向けワンストップ配信システム「admintV Webinar」の取り扱いを開始いたしました。ウィズコロナにおけるお客様の多様なニーズに対応するため、商材の拡充と、積極的な営業活動を行ってまいります。



## 空間プロデュース事業

### OTK 3年ぶりの展示会出展

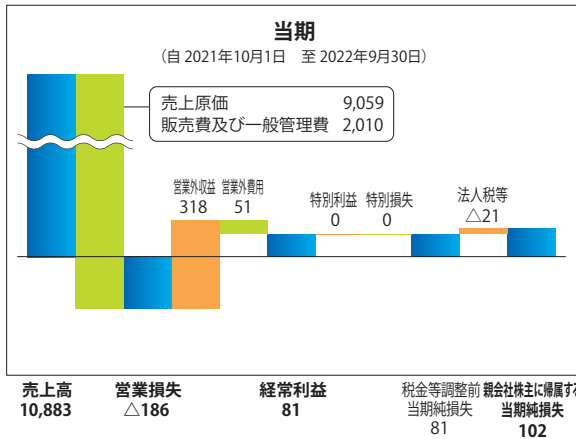
コロナ禍により逸失していた各種展示会へ積極的に出展いたしました。新商材のデモンストレーションや勉強会を開催し、新たなお客様の獲得に向けた幅広い提案を行いました。



## ■連結財務データ

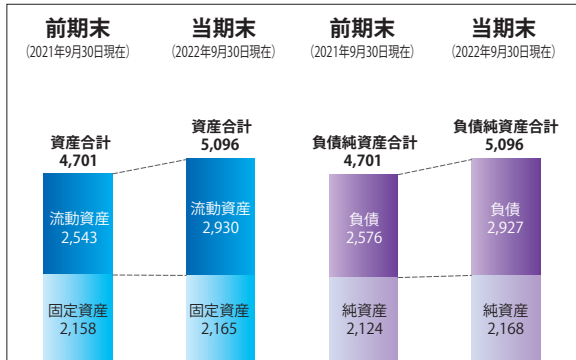
### 損益計算書の概要

(単位:百万円)



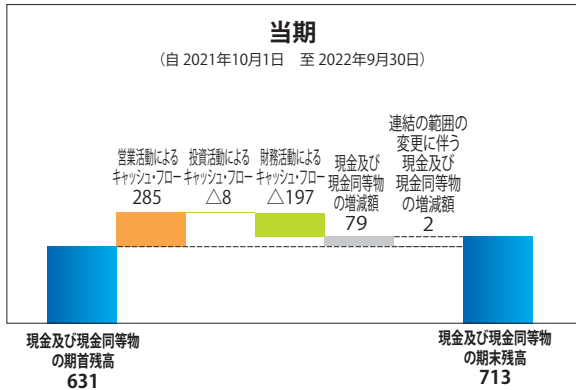
### 貸借対照表の概要

(単位:百万円)



### キャッシュ・フロー計算書の概要

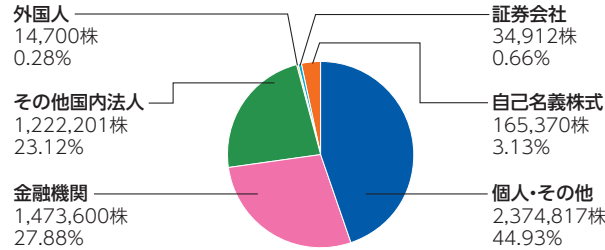
(単位:百万円)



## ■株式の状況(2022年9月30日現在)

発行可能株式総数 20,776,000株  
発行済株式の総数 5,285,600株  
(内、自己株式165,370株)  
株主数 2,074名

### ■株主分布(2022年9月30日現在)



\*分布比率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

### ■大株主(2022年9月30日現在)

株主名	所有株数	持株比率*1(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(リテール信託口620090802)	677,000	13.22
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(リテール信託口620090803)	671,000	13.10
Oakキャピタル株式会社	600,000	11.72
野口 緑	564,800	11.03
S-TEC株式会社	425,000	8.30
白土 将敏	212,900	4.16
株式会社日本カストディ銀行(信託E口)*2	125,600	2.45
秋元 之浩	120,000	2.34
CSSグループ従業員持株会	82,300	1.61
株式会社広美	80,000	1.56

\*1 上記の持株比率は、自己株式165,370株を控除して計算の上、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

\*2 株式会社日本カストディ銀行(信託E口)は、役員向け株式給付信託の信託財産として125,600株を保有しております。なお、当該株式は自己株式に含めておりません。

## LINE公式アカウントはじめました!

CSSグループの「今」がわかる、最新ニュースやホットな話題、お得情報を配信します

LINE ID : @663mhfp



## ホームページのご案内

最新の実績紹介のほか、ニュースリリースやIR情報など、当社の事業活動についての情報を掲載しています。ぜひご覧ください。



<https://www.css-holdings.jp/>

## ■会社概要(2022年9月30日現在)

会社名 株式会社CSSホールディングス  
本社所在地 東京都中央区日本橋小伝馬町10番1号  
会社設立 1984年(昭和59年)12月  
資本金 393百万円  
連結従業員数 5,002名  
(うち、パートナー(パート・アルバイト)4,521名)

役員  
(2022年12月16日現在)

取締役会長	稲葉 秀二
代表取締役社長	水野 克裕
代表取締役	野口 緑
取締役	讃岐 康司
取締役	太田 清久
取締役 監査等委員(社外)	越智 敦生
取締役 監査等委員(社外)	永辻 航
取締役 監査等委員(社外)	福田 峰夫

## 株式Information

事業年度 毎年10月1日から翌年9月30日まで  
定時株主総会 毎年12月  
基準日 定時株主総会・期末配当 毎年9月30日  
株主名簿管理人(特別口座の口座管理機関) 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社  
郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
(電話照会先) 電話 0120-782-031(フリーダイヤル)

### <住所変更等のお申し先について>

株主様の口座のある証券会社にお申しください。  
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申しください。

### <未払配当金の支払について>

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申しください。



**セントラルサービスシステムグループ**  
CENTRAL SERVICE SYSTEM GROUP  
**株式会社CSSホールディングス**

〒103-0001  
東京都中央区日本橋小伝馬町10番1号  
TEL : 03-6661-7870 / FAX : 03-6661-7871